

## 韓国の農場で高病原性鳥インフルエンザ (H5N1亜型)発生！（韓国内今シーズン初）

### 発生概要

- ・所在地：韓国京畿道坡州市
- ・飼養羽数：地鶏農場、約3,100羽
- ・経緯：9月12日、当該農場から防疫当局に死亡羽数の増加の通報があり、精密検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの感染が確認された。

### 養鶏農家の皆様へ

別添の「高病原性鳥インフルエンザ対策のポイント」及び「一斉点検の要チェックポイント」をご覧ください、ウイルス侵入防止対策を徹底するとともに家さんの健康観察を毎日行い、異状を感じたら速やかに家畜保健衛生所に通報してください。

家畜伝染病予防法第52条で定められた毎月の死亡羽数の報告も必ずお願いします。



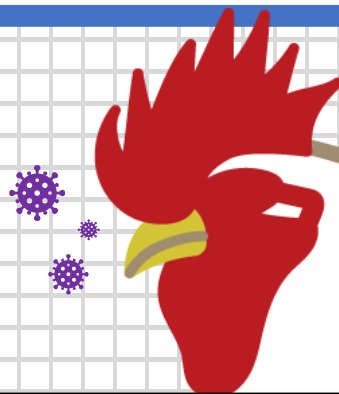
埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

TEL: 048-663-3071

（24時間、土日祝日も受付）

## 対策のポイント

# 高病原性 鳥インフルエンザ



- 渡り鳥の飛来により、今シーズンも **高病原性鳥インフルエンザウイルス**が我が国に侵入するリスクは極めて高い 状況です。
- 本病の発生を予防するため、**地域におけるリスク低減対策**を推進し、いま一度、**農場におけるウイルス侵入防止対策**を強化しましょう。

## 農場における発生予防対策

### 農場へのウイルス侵入防止対策の強化

飼養衛生管理の基本的な管理項目を**毎月点検し、不備があれば改善**。

#### ■ 人、物、車両の入出時対策

- ・衛生管理区域**専用**の衣服や靴の使用。
- ・着用前後で**交差のない動線**、**明確な境界**を確保。
- ・適切な車両消毒、手指消毒の実施。
- ・**家きん舎ごとの専用**の靴の使用。

#### ■ 野生動物の侵入防止、誘引防止

- ・畜舎の壁、防鳥ネット等の**破損修繕**。  
→特にネコ、イタチ、カラス等の侵入を防止
- ・ねずみ及び害虫の**駆除**
- ・鶏卵・鶏糞の搬出口に**覆い**を設置。
- ・餌置場の清掃、死体や廃棄卵の適切な処理など**誘引を防止**。

## 重点対策期間

渡り鳥の飛来が本格化する前の9月中には防疫体制を整備。

**10月から翌年5月までは警戒を強化**。

特に**11月から翌年1月までは重点対策期間**。

## 健康観察と異状の早期発見

家きん所有者は毎日の健康観察を入念に行い、異状を認めた場合は速やかに管轄の**家畜保健衛生所**に届け出。

## 野鳥・野生動物対策

- ・農場周辺のため池は、水抜きや忌避テープの設置等により**野鳥の飛来を防止**。
- ・農場周辺にカラス等の野鳥を誘引する施設や生息に適した環境がある場合は解消
- ・野鳥等への安易な餌やり等の中止



近年の発生地域ではリスクが高いことを認識し、特に重点的に対策を徹底。

家畜保健衛生所、産業動物獣医師など第三者の視点も活用して対策を向上させましょう。



# 一斉点検の要チェックポイント（家きん）



## ①衛生管理区域に病原体を持ち込まない！

- ☒ 手指の洗浄・消毒をしていますか？
- ☒ 車両の消毒をしていますか？
- ☒ 専用の衣服や靴の確実な着用ができていますか？

✗ 境界に更衣や消毒の設備がない



○ 車両の消毒、専用の衣服や靴の着用



タイヤの溝やタイヤハウスもしっかりと！

## ②家きん舎に病原体を持ち込まない！

- ☒ 手指の洗浄・消毒をしていますか？
- ☒ 専用の靴の確実な着用ができていますか？

✗ 専用の長靴が用意されておらず、  
出入り時の動線も不明瞭



○ 専用の長靴の着用、すのこ等を用いた靴の  
履き替え時の動線の交差防止



## ③野生動物を近づけない！侵入させない！

- ☒ 防鳥ネット等は家きん舎のみでなく、堆肥舎等にも設置していますか？
- ☒ 破損箇所や開口部の隙間は速やかに補修していますか？
- ☒ ネズミや害虫の駆除は定期的に行っていますか？

✗ 壁や金網に破損があり、  
補修されていない



補修はしっかりと！



屋根裏内部やモニター開口部  
も破損がないか要確認！

○ 集卵ベルトの開口部や堆肥  
舎も隙間がないように対策  
している



野鳥が多い地域  
は特に注意！



鶏舎全体を防鳥ネット  
で覆った事例